

# OM-26R/M用ねじ残量センサー(TKA09452)取扱説明書(オプション製品)

この度はOM-26R/M用ねじ残量センサーをお求め頂き、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、「OM-26R/Mシリーズ取扱説明書」及びこの説明書よく読んでお使いください。

## 1、本製品の概要

本製品は「ねじ自動供給機 OM-26R/Mシリーズ」専用のねじ残量センサー(TKA09452)です。  
OM-26R/Mと組み合わせることにより、ねじの残量が少なくなった事を検出し、外部に信号を出すことができます。

## 2、ご使用前に下記付属品の確認をお願いいたします。

取扱説明書	1部	信号線(5芯)	1本
信号線(2芯)	1本	取り付けねじ	2本

## 3、取り付け方法

残量センサーの接続ハーネス(5芯)は、CN90へ  
信号線は、CN91へ接続し、カバー後ろの穴から外部に引き出してください。  
詳しくは、OM-26R/Mシリーズ取扱説明書「8-2. ねじ残量センサーについて」をご参照下さい。

## 4、調整

出荷時に調整してあります。

概ね、ねじ残量が許容量の約20~10%以下になった時に、供給機外部信号出力(青・緑色)が導通状態になります(弊社標準ねじ使用時)。

※注1: 検出値は、ねじの形状によって変動します。

## 5、信号定格

直流電流 max 100mA

印加電圧 5~24V (max 27V) ※注2: 必ず青色側を高電位、緑色側を低電位にしてください。  
(逆接すると破損することがあります)

## 6、その他

・緑色のLEDは、残量センサーに電源供給されていることを示します。

・残量検出のしきい値は、残量センサー上面の可変抵抗で調整することができます。  
調整する場合は下記の手順に従ってください。

(1)残量検出センサーを取り付け後、残量が少なくなったと検出したいねじの量を供給機にいれ電源をいれます。

このとき、ねじの量は、概ね全許容量約40~10%の範囲内にしてください。

40%以上の量では調整できません(弊社標準ねじ使用時)。

(2)OM-26R/Mに付属の調整ドライバー(マイナス側)を使用して、赤のLEDが点滅するポイントがしきい値近辺です。

点滅には2種のパターンがあり、早い点滅のときに調整精度が上がります。

※注3: 指定のドライバー以外は使用しないでください。

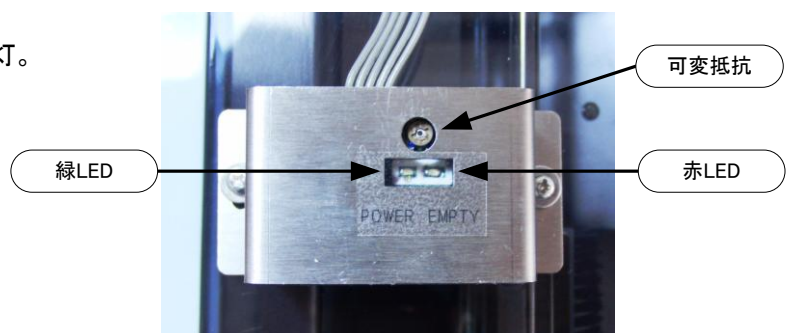
## 「各部の名称と機能」

緑LED: 残量センサーに電源が入っている時点灯。

赤LED: 残量が調整値以下になった時に点灯。

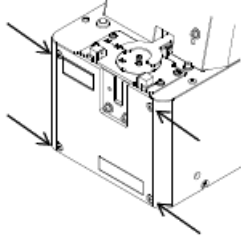
調整値近辺のとき点滅。

可変抵抗: 残量しきい値調整抵抗。



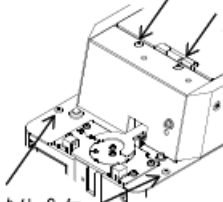
# OM-26R/M 用残量センサー 取付方法

① OM-26R/M のカバー前下を外す。



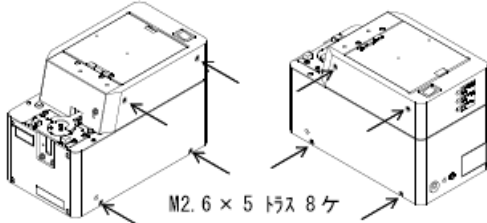
※ドライバーは#2を使用して下さい

② カバー前を外し、LEDのコネクタを外す。  
M2.6 × 8 Pタフト 4ヶ  
M2.6 × 3 トラス 2ヶ



M2.6 × 8 Pタフト 2ヶ

③ 外装カバーのねじをはずし、前面を持ち上げて、斜め後ろに持ち上げるようにして外す。

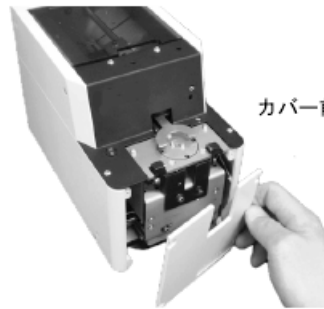


M2.6 × 5 トラス 8ヶ

④ ねじ残量センサに付属のねじを使用して、OM-26R/Mの上蓋のねじ穴2ヶ所に固定する。残量センサは供給機前側に寄せる。

接続ハーネス (5芯) は上蓋とカバーとの付け根の切り欠きを通し、内部へ通します。

①



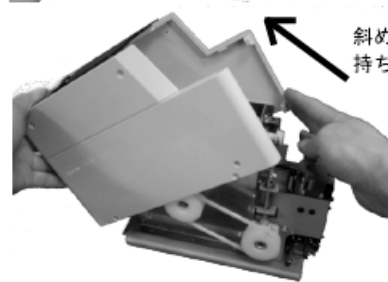
カバー前下を外す

②



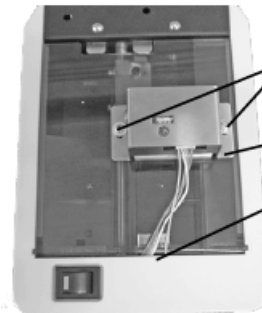
カバー前を外し、LEDのコネクタを外す

③



斜め後ろ方向に持ち上げて外す

④



上蓋にねじ止める  
M2.6 × 5 ナベパネ座・平座 2ヶ

残量センサ

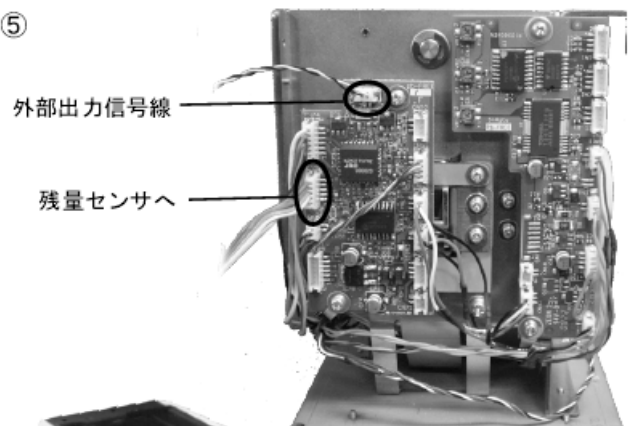
蓋の付け根の切り欠きからハーネスを内部へ通す

⑤ ハーネス (5芯) は OM-26R/M 後部のステッピングモーター駆動基板 (左側) 上の左側上から 2 番目 (C N 90) のコネクタに差し込みます。

残量センサに付属の外部出力信号線 (2芯) を基板上側のコネクタに差し込みます。信号線は外装カバー後部の穴を通して外部に引き出してください。

⑥ ハーネスを挟まないように、取り外すときと逆の手順でカバーを取り付けます。

⑤



外部出力信号線

残量センサへ

OM-26R/M 本体後部



後部穴から信号線を出す